



(一社) 日本歯車工業会 議事録

会議名	開催日時・場所
平成 30 年度 第 1 回理事会	H30. 4. 20 (金) 14:30~17:00/東京:機械振興会館 地下 2 階 B2-2 会議室
出席者 (敬称略)	<p>(会長) 栄野隆 (副会長) 松波俊宣、植田昌克、小原敏治 (理事) 猪村美之、高橋丈助、宇根宏、菊地義典 加納孝樹、池滝重隆、實角幸彦、辻勇、井田斉昭、大久保利彦、田中文彦、津井克己、清川敬久、中西浩 (監事) 小松滋、矢都木力 (オブザーバー) 阿部義和、入江政幸 (来賓) (経済産業省 製造産業局 産業機械課 部品・一般産業機械二係長) 阿部利恵 (事務局) 本島浩美、田中克弘 以上 25 名出席 (理事 18 名、監事 2 名、来賓 1 名、オブザーバー 2 名、事務局 2 名)</p>
議 事	
<p>理事定数 25 名のところ出席理事 18 名、定款第 36 条に定める理事の過半数の出席により本理事会が成立している旨報告があった。定款第 39 条に基づき栄野会長、小松監事を議事録署名人に選任し、議長に栄野会長が就任の上、下記議事を進行した。</p>	
事項・資料	議 題 / 決 定 ・ 検 討 事 項
【来賓ご挨拶】	<p>【資料-1】福島県浜通り地区への立地について (経済産業省 製造産業局産業機械課 阿部利恵係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先の大震災の後、国を挙げて福島の復興に力を入れてきた。 ・特に産業面においては下記の通りである。 <p>①企業立地優遇制度 ②産業団地の整備 ③交通インフラの整備 ④生活住環境の整備 ⑤医療・福祉・教育施設の整備等</p> <p>ぜひとも、今後検討頂きたい。</p>
【審議事項】	<p>ご挨拶 (栄野会長)</p> <p>昨年度は、工業会全体として生産高は前年比プラス 5%の伸びで、引き続き平成 30 年度もこの状態が続くと期待する。工業会も何とか黒字決算でおえられた。 今年度は 5 月の総会をもって新たな役員体制で新しいスタートを切りたい。</p> <p>(1) 平成 29 年度決算報告の件 (事務局・本島)</p> <p>【資料 No. 1】4 月 16 日 監事監査を無事終了した。(事務局)</p> <p>決算報告書に承認を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算報告の補足説明として、決算報告の増収分等は前回の理事会説明の、西日本支部の積み立て会費清算と風力委員会の清算による。また、事務局の経費節減の努力により黒字決算になった。(小原副会長)

【審議事項】**(2) 80周年事業について****【資料 No. 2】 創立 80 周年表彰規程**

1) 創立 80 周年表彰規程について實角分科会長より説明有り、表彰規程の制定について承認を頂いた。

・表彰者の決定は客観的な尺度をもって、会員在籍期間等の在籍年数で決める。学識経験者は年数だけでなく当会の発展に功績のあった方とする。

2) 歯車製造便覧の進捗状況について、小原副会長より以下説明有り。昨日現在で 85% の原稿は印刷中。全体の完成後、有浦先生による総括原稿を纏めるため、5 月には原稿終了、7 月完成の予定。

(3) 新会員の承認**【資料 No. 3】 新会員の新規加入について、承認を頂いた。**

1) 東洋電機製造株式会社（賛助会員）（ご紹介者）株式会社イワサテック 辻 勇社長

(4) 金属性状評価プロジェクト予算及び目標について

栄野会長及び阿部プロジェクト運営副委員長より以下の説明有り。

【資料 No. 4】 「歯車用鉄鋼材料品質の適正且つ効率的な評価手法の開発」 今後の事業方針及び事業資金の募集について

1) 平成 30 年度 補助事業推進について

JKA 補助金事業として、1 年間の事業期間で採択、認可され、JIS 規格化を目指す。

2) 自己負担金の募集について

補助金総額 (2,542 万円) は 1/2 補助であり、半分は工業会会員の自己負担金 (1,271 万円)

となるため、会員企業から募集する。協力をお願いしたい。

上記・1)、2) について過半数の承認を頂いた。

【協議・報告】**(1) 役員交代等について****【資料 No. 5】 栄野会長より以下説明あり。**

・定款により、理事の任期 1 年のため「理事就任の承諾書」を全員から提出して頂き、受理済み。役員は、5 月の総会で承認をいただく予定。臨時理事会で会長、副会長を理事の互選により選任していただく。

・新任の理事候補として、小名木川ギヤーの岩崎論三専務から就任承諾を頂いた。

・ユニテックギアの遠藤光男相談役は退任。

【協議・報告】

(2) 2018年 JGMA 海外視察検討・中間報告

【資料 No. 6】 植田副会長より以下説明あり。

・平成30年度は9月にシカゴで開催される IMTS2018、近郊の歯車メーカー、IoT 関連メーカー訪問を予定。4 旅行会社でコンペをおこない、日本旅行に決定した。中身の濃い視察にした

い。

(3) ISO 国際会議出張報告

植田副会長より以下説明あり。

・今年の3月19,20日と ISO 国際会議（オランダ）に中島隆委員と出席した。詳細内容は会報記事参照。先生の高齢化が進み、国際会議は殆ど竹田龍平さんをお願いしているのが現状だ。日本は ISO 国際会議で意見が言える“Pメンバー”としての権利を持っており、継続したい。

(4) 規格委員会の進め方

栄野会長より下記説明があった。

・国際会議や規格について、植田副会長、辻理事、池滝理事に規格副委員長として、規格委員会に出席いただいて、会議の中でどのような議論が行われているのか、について理事会で紹介頂く。就いては、理事会のメンバーにも各委員会に出席いただいて感じた点など理事会において報告願いたい。会員にメリットがもたらされているか、いろいろ意見をいただきたい。

(5) 景況報告

・現在、仕事は繁忙だ。設備が古く設備投資をして、生産性を上げてゆきたい。（松本理事）投資の面で経産省も税制、補助金で応援をしている。工業会も応援したい。（栄野会長）

・建機、トラックとも高成長・繁忙だが材料が入らない、得意先の遅延で部品在庫の増加懸念。今期は良いが、続くのか？ 韓国の機械見本市で日本は技術の発表、韓国は即商談で熱気がある。老朽設備更新は得意先業界の景気の波を考えて実行。（大久保理事）経済は順調に回復基調だが、投資に踏み切れない不安要素が共存しており注視必要だ。（栄野会長）

・非常に繁忙である。しかしこの後どうなるのか。各業界で再編・変化があり、外国人の営業や今までにない企業の連携（ライバルが手を結ぶ）がある。（高橋理事）

・特段良いわけではなく、普通である。全額即時償却して少し赤字の程度である。（松波副会長）

・会員同士で情報交換し、ご紹介など工業会場で話をして行きたい。新年度最初の理事会などで景況に関するご意見を頂いたが、景気回復はまだら模様と思われる。（栄野会長）

・

・

<p>【講演】</p>	<p>「JIS/ISO 規格/標準化の流れと工業会の取り組み」</p> <p>【資料 No. 7】 竹田龍平 大阪精密機械㈱ 技術本部本部長より以下講演があった。</p> <p>① 資料-歯車に関する ISO/JIS 規格について</p> <p>② 歯車規格体系一覧表</p> <p>・資料①、②を使用して内容解説並びに講演を行った。各委員会で取り組んでおり、ISO 国際会議にも提案を行っている。社内で使用している製造に関する規格は今のままで良いが、規格は法律ではないが海外ビジネスでは、今後 ISO 規格が重要視される。</p>	
<p>添付資料</p>	<p>資料-1 経済産業省関係 福島県浜通り地区への立地について 平成 30 年 4 月 大臣官房福島復興推進グループ 福島新産業・雇用創出推進室</p> <p>資料 No. 1 貸借対照表 平成 30 年度 3 月 31 日現在 正味財産増減計算書 財務諸表に対する注記 正味財産増減計算書内訳表及び付属明細書</p> <p>資料 No. 2 一般社団法人日本歯車工業会創立 80 周年表彰規程</p> <p>資料 No. 3 入会申込書 東洋電機製造株式会社</p> <p>資料 No. 4 「歯車用鉄鋼材料品質の適正かつ効果的な評価手法の開発」 今後の事業方針及び事業資金の募集について（案）</p> <p>資料 No. 5 一般社団法人日本歯車工業会役員名簿（案）</p> <p>資料 No. 6 2018 年度 JGMA 海外視察検討・中間報告</p> <p>資料 No. 7 歯車に関する ISO/JIS 規格について（竹田龍平委員） 歯車規格体系一覧（竹田龍平委員）</p>	
<p>次回開催日</p>	<p>平成 30 年度第 2 回理事会</p>	<p>H30. 5. 18（金）16:30～17:30／島根県出雲市：玉造温泉 ホテル玉泉</p>

以上

平成 30 年 4 月 20 日

一般社団法人 日本歯車工業会
会長 栄野 隆



一般社団法人 日本歯車工業会
監事 小松 滋

